



総務省

**「電波の日 近畿総合通信局長表彰」  
を受けられたエフエム和歌山様に伺いました**

### 人工知能アナウンサー「ナナコ」が届けるラジオ

エフエム  
和歌山

和歌山市に所在するコミュニティFM局で、愛称は「バナナエフエム」(周波数: 87.7MHz)



近畿総合通信局は、平成30年6月1日に「電波の日・情報通信月間」記念式典を開催し、電波及び情報通信分野の発展に貢献された団体及び個人を表彰しました。

このうち、「電波の日」近畿総合通信局長表彰を受けられた特定非営利活動法人エフエム和歌山は、AI技術の活用により一人でも放送番組を制作することが可能なシステムを開発し、台風被害発生時に災害情報や被災者支援情報を被災者に提供するなど、地域住民の安心・安全の確保に多大な貢献をされました。

当局では、受賞理由になったAI技術の活用や災害情報の提供について、エフエム和歌山のクロスメディア局長山口誠二氏【写真右】にお話を伺いました。



#### 【AI技術の活用に至るきっかけを教えてください。】

コミュニティFM局は、小規模でスタッフの数も少ないので、運営していくのが大変です。

例えば、朝はニュース、天気、交通情報など最も聴取者が多い時間帯ですが、放送するには、毎日朝早くからの編集作業が必要です。録音を流すだけなら無人でもできますが、それではもったいないですし、聴取者にとってもおもしろくありません。

そこで、AI技術を活用し、録音や編集作業を時間をかけずに行う仕組みを開発しました。

ニュースや天気などの情報を自動的に取得・分析し、それを音声に変換・合成し、定時になれば自動的に読み上げるので、深夜・早朝時間帯でも放送が可能になりました。25カ国語への同時翻訳・放送も可能です。

なお、**ニュースを読み上げるAIアナウンサーは、女性(声)が「ナナコ」、男性(声)が「八太郎(はちたろう)」という名前です。**

#### 【災害発生時における、災害放送の内容や放送体制を教えてください。】

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)では、7月6日午前3時すぎに和歌山市から「避難準備情報」が発令されました。

これを受け、午前4時から8時までの間、わずかなスタッフで災害報道を行いました。大規模災害用のアナウンサーソフトウェア「Da Capo」を使用して、私(山口氏)が自宅で災害情報を原稿化し、近隣在住で出社できたスタッフが機器

を操作することで、大雨情報や避難情報を繰り返し放送しました。避難場所の情報は英語に翻訳して放送しました。

アナウンサー不在の時間で、かつスタッフの出社が難しい時間帯でしたが、十分な放送ができたと思います。

↓裏面(2/2)へ続きます



AIによる番組編集画面  
(外国語翻訳)



総務省

↓表面(1/2)から

### 【ラジオへのAI技術活用について、今後の展望を教えてください。】

AI人工知能アナウンサーはクラウド化したシステムで、現在、全国で約10のコミュニティ放送局が導入しています。

コミュニティFM局は規模も小さい上、それぞれ似たような課題を抱えていると思います。多くの事業者がこの仕組みを活用していただき、情報を共有していけば、人工知能の精度<sup>注</sup>、ひいては放送の質を高めることにもなります。

海外では、災害発生時に災害・生活情報を繰り返し流し続けることでデマや暴動など治安の悪化を防ぐこともできるのではないかと考えています。最近では、国内で緊急の不審者情報を多言語で放送した事例もあるようです。

AI技術の活用が、コミュニティFM局が抱える課題を解決し、質の高い放送番組・災害情報の提供に役立つことを期待しています。

注：取材の際、「大津波」という文字情報を、人工知能は「おおつは」と音声変換しました。時が経つと人工知能が学習して「おおつなみ」と変換するようになりますが、読み上げデータを修正し、蓄積することで人工知能の精度も高まっていきます。

<6月27日及び7月13日取材>



- ・エフエム和歌山は、和歌山市郊外の住宅地にあります。
- ・ラジオの電波は、和歌山市中心部から送信しています。

## 医療機関における電波の安全性に関する説明会を 大阪市で開催



説明会の模様

近畿総合通信局は、平成30年7月5日、近畿地域の医療機関における電波利用推進協議会との共催により、大阪市内で「医療機関における電波の安全性に関する説明会」を開催し、143名の医療関係者が参加しました。

近年、医療機関では、医用テレメータ、無線LANなどの電波を利用する機器の活用が進んでおり、また、患者や家族などが病院内で携帯電話等を利用したいというニーズも高まっています。しかし、医療機関において適切な電波の管理が行われていない場合、機器相互の混信や電波が届かないなどトラブルが発生する可能性があるため、総務省などで構成する電波環境協議会により平成28年4月に「医療機関において安心・安全に電波を利用するための

手引き」が公表され、各地で説明会を行っています。

今回の説明会では、埼玉医科大学保健医療学部臨床工学科講師の川邊学氏が手引きの内容のほか、具体的なトラブル事例とその対処法について説明しました。

「手引き」はこちら → <https://www.emcc-info.net/info/medical-pub2/medical280404-1.pdf>  
「e-learning教材」はこちら → <https://www.emcc-info.net/info/info300410.html>

総務省  
近畿総合通信局

Kinki Bureau of Telecommunications



編集 近畿総合通信局  
発行 総務部総務課企画広報室

OSAKA-KANSAI  
JAPAN  
EXPO2025



2025年 国際博覧会を大阪・関西へ

http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/ 電話：06(6942)8508

〒540-8795 大阪市中央区大手前1-5-44 大阪合同庁舎第1号館